

## 式辞

平年よりも早く満開となった桜も過ぎ、春光うらかな季節を迎えた本日、令和三年度 福井県立藤島高等学校 第七十三回入学式を挙げるに当たり、PTA会長 横山康浩様をはじめ、役員の皆様のご臨席を賜り、このように新入生の皆さんを祝福できますことは、私たち教職員にとりましても、この上ない喜びであり、御隣席いただきました各位に対しまして心から御礼を申し上げます。

ただ今、入学を許可しました三三六名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、自らの意志で多くの学校の中から本校を選びました。入学式に当たり、そのことを今一度思い起こし、さらに、保護者の皆様やご家族、お世話になった先生方などへの感謝の気持ちを新たにして、高校生活の第一歩を歩み出していただきたいと思います。

本校は、安政二年 一八五五年に 福井藩十六代藩主 松平春嶽公によって設立された 藩校「明道館」の流れを汲んでいます。「啓発録」の橋本左内先生は、本校の校歌に謳われているように、その若い情熱を傾け、藩校「明道館」で 来るべき新しい世に活躍する 多くの人材育成に当たられました。本校を巣立った五万人を超える先輩方の中には、岡田啓介第三代内閣総理大臣や、ノーベル物理学賞の受賞に輝く南部陽一郎先生をはじめ、実に多才な方々がおり、日々、国内外で活躍されておられます。

さて、今世界は地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震といった災害など、予測が困難な事象が次々と起こっています。また、日本や先進国では、少子高齢化が深刻な問題として取り上げられています。さらに、AI やIoT、ビッグデータといった新たな価値の創造など、これから先がどんな時代なのかが見えない、劇的な変化の只中にあるといっても過言ではありません。そこに、今回の新型コロナウイルスという過去100年に人類が直面したことの無い緊急事態がおこりました。「民主主義」や「市場経済」を根底から揺るがす危機とさえ言われるような事態です。したがって、現代を生きる我々は、こうした危機を乗り越えて劇的な変化の中で、新たな世界や社会を構築していかなければならず、それはまさに、橋本左内先生が「明道館」で学生たちに求めた思いそのままと言えるでしょう。未来に向かって新しい時代を切り拓き、新しい時代の価値を創造していく役割は、本校生徒の使命として、脈々と受け継がれているのです。

この役割が担えるかは、柔軟な頭で新しいものの見方ができるかどうか、秘めたる情熱と豊かな教養を持って、たくましく豊かに成長していくことができるかどうかにかかっています。ですから、皆さんには3年間の藤島高校での生活で、ぜひともその土台を築き上げてもらわなければなりません。

そこで、今日はそのための心得として、三つのことについて話をしたいと思います。

まず一つ目は、「夢を持ち続ける」ということです。かの吉田松陰は「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし」と残しています。人は夢を持ち続けることにより、困難な状況にも耐えることができ、前向きになります。そして、夢を実現するために悩み、苦しみながらも 努力することで、人間は成長し、達成感や充実感、満足感を味わうことができます。夢に向かって努力しチャレンジすれば、必ず道は開けてくるものと信じます。

二つ目は、「自ら問いを立てて、探究していく」ということです。これまで皆さんは「知識はたくさん蓄えていけばよい」と考えていたかもしれません。しかし、知識の量イコール学力という時代は終わりつつあります。なぜなら、人間の記憶力はコンピューターに勝てないからです。AIすなわち人工

知能に人間が勝てるのは「考える」という領域です。「考える」こととは「問いを立てる」ことです。問いを立て、答えを見つけるためには知識は必要ですが、知識が単独で答えをプレゼントしてはくれません。知識や技術を様々な組み合わせる作業があって初めて、未知の領域に踏み込むことができるのです。そのためには、知識を与えられることで満足するのではなく、手に入れた知識に命を吹き込むことです。それには、自分で問いを立て、その問いに対する答えを自ら探し求めていくことが必要なのです。

三つ目は、感動のある高校生活を送って欲しいということです。仲間を沢山つくってください。共に喜び、共に泣ける真の仲間は、高校時代の切磋琢磨の中から生まれ、一生にわたって皆さんの大きな力となります。コロナ禍の中で集団での教育活動が減少したことが、実は学習活動よりも大きなダメージを高校生的心里に与える結果となりました。コロナ対策をとったうえで、部活動や生徒会行事に積極的に参加し、心身を鍛えるとともに、豊かな感性を身につけてください。ただし、高校生活は皆さんが思っているほど毎日が刺激に満ちている訳ではありません。感動は日々の地味で、一見単調な努力の積み重ねの中で得られるものであります。感動は多くの場合、汗と涙の結晶だということを忘れないでください。

最後になりましたが、今日まで、お子さま方を立派に育ててこられた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げますとともに、私ども教職員一同、本校の教育方針である「豊かな教養を身につけた「21世紀を担うリーダーの育成」に向けて、精一杯努力してまいりますので、本校の教育活動に對しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

希望に胸ふくらませて入学してきた皆さんが、本校で大いに個性と能力を伸ばし、藤島高校の歴史に七十三ページ目の新たな歴史を記しながら、充実した三年間を送れることを期待して、式辞といたします。

令和三年四月七日

福井県立藤島高等学校長 松田透